

【後輩でパーティメンバーの魔法戦士娘と、恋をする】 台本

制作 しろがね屋号

■トラック1 一年前に

(一年前の回想。主人公の卒業式の直前。)

先輩は卒業した後、どうするつもりなんですか？

お得意の回復魔法を活かして病院でも開くんですか？

先輩はロリコンだから小児科なんてきつと天職になるはずですけど。

で…なにになるんですか？

…へえ、冒険者ですか。私と一緒にですね。

先輩と一緒に夢を追ってるなんてちょっとイヤなので、やっぱり先輩は家に引き込みつつて下さい。

…。一緒に冒険してくれる方は、もう見つかったんですか？

…はい？ いないんですか？ …確認しますけど、先輩、もう卒業するんですよね？ それに、ヒーラーだけじゃ冒険なんてできないですよ？

先輩は、そういうところが詰めが甘いつてんですよ。意気込みだけいつちよ前。
…はあ。

…ま、一年経って一向にパーティメンバーが集まらないようなら、慈悲深い私が、なつてあげてもいいです。

丁度私も卒業ですし、まだメンバー、見つかってないんで。

はあ…？ 戦えるのかって、私、剣術も魔法も2年生でトップなんですけど。

回復魔法と支援魔法しか使いこなせない、どこかの落ちこぼれの卒業生と違って。

…一年間、魔法の技術を磨いていればいいんじゃないですか。

そしたらもしかしたら、どこかの馬鹿な冒険者が声を掛けてくれるかもしれませんから。でも、それでも仲間が出来なかったら、私を迎えに来て下さいね。

■トラック2 冒険の始まり

(冒険の前日。冒険の行程などの打ち合わせ中。)

昨晚、色んなことを思い出してました。

覚えてますか？ 丁度一年前、私が先輩に言った言葉。

一年経ってパーティメンバーが集まらなかったら、って話。

まさか本気にしてるとは思いませんでした。

卒業式に来て、親に挨拶し始めた時は殺してやろうかと思いましたよ。

何が娘さんを全力で守ります、ですか。ヒーラーのくせに。

それにママ、めっちゃびっくりしてましたよ。冒険者になることもそうですけど、私に彼氏がいたんだって。…んなわけあるか。ま、恋人でもない男女二人が冒険に出るなん

て言えなかったんで、そのままにしておきましたけど。
…。最終確認です。…守ってくれるんですよね、先輩。

私がどんな怪我をしても必ず治すって約束して下さい。

支援魔法で私を最強にしてくれるって、絶対に負けさせないって、約束して下さい。

冒険は命懸けで、お互いの信頼関係が重要なんですからね。
私は先輩のこと…それなりには信頼してますから。だから先輩も私のこと信頼してください。

他のパーティからのお誘いをわざわざ先輩の為に断って、それなりの覚悟をしてきましたから。

それはそうと、進路は確認済みですよ。

ここからずっと西の最前線都市への進路。

はい、じゃあ、明日の朝出発なので。今日はしっかり寝てきて下さい。

それじゃ先輩、また明日。

■トラック3 名も無き樹海

(冒険初日。町に近い樹海)

歩いても歩いても木ばかり、出発してからそれほど経ってませんが、足場はよくないし流石に脚にきますね。装備もすごい重いし。

先輩は回復魔法使いだから荷物が少なくて羨ましいです。

…はっ？ちょ、なんですかつ！?

…手え!?つつ、繋ぎませんよそんなの!気持ち悪いなあもう。

…やっぱり先輩となって冒険始めるんじゃないかったです、ここはもう、安全区域内じゃないんですよ。

いつどこからモンスターが出てきてもおかしく無いんですよ。

それに恋人同士じゃあるまいし、手なんて繋がらないです。

それとも何ですか、先輩はそーゆーつもりで私を誘ったんですか?

…まあ、私は先輩のこと、男の子としてこれっぽっちも好きじゃないので、というかわしろ嫌いなんでもいいですけど。

え……?私が冒険についてきた理由、ですか…?あれ、言っていなかったですか?

…ストップ。屈んで。先輩、敵です。

400メートル先、二時の方向に…あれは…ゴブリン…でも、なんでここに…。

そっ、それより、先輩、どうします?

…はい、迂回…私も賛成です。

ゴブリンは集団で生活する習性があるので、仲間を呼ばれても困りますからね。

左の脇道どうか…気付かれました。こちらに一直線に向かってきますっつ。

戦闘、開始します。

■トラック4 野宮

(初日の夜、野宮するための洞穴)

先輩、ここに丁度いい洞穴がありますよ、今日はここで野宮していきましょう。
…なに乙女みたいなこと言ってるんですか。こんな樹海のど真ん中に宿なんてあるわけないでしょう？

寝るんです。先輩と私はここで。…ね、じゃあ、結界張つといてください。

それと、拾ってきた薪をここに。…はい、そこです。ちょ、雑に放り投げないで下さい。

…あー、寒。早く火つけましょう。

…んーと、先輩、もうちょつと薪から離れてください。意外とぼわつてなりますよ。黒焦げになっちゃいますよ。

ええ、そこですか？もつと下がった方がいいと思いますけど。

…いいんですか？知りませんよ。

ドウ・マ・ドウルテ。どうです？だいぶ短縮された詠唱でしょう。

…ちよつ、先輩ッ服！服が燃えています！だから言ったのに！

大丈夫ですかっ!?先輩！

■トラック5 暗がり

(消化後。灯りがないので真っ暗)

はあ……最悪。

さっきの水のせいで薪に火がつかなくて寒いし暗いし、おまけに先輩、濡れたからって上半身裸でキモいし…。

ん……いや違います。さっきのは先輩が七割位悪いです。

とにかく、今日はもう寝ましょう？

私も、ゴブリンの群れとの戦闘のせいでかなり疲れました。

先輩も何だかんだ私のためにたくさん回復魔法をかけてくれましたし。

…って、なんでそんなに震えてるんですか…?…寒いんですか…?

じゃあ火炎魔法でもかけてあげますかね。

…じよ、冗談に決まってるじゃないですか。本気にしないでください。

……しようがないですね。…ちよつとだけなら、こっちに来てもいいですよ。

ほら、さっさと毛布に入ってください。

…冷え切ってますね、体。腕がくっついてるからすぐ分かります。

……。

ひゃ…ッ!?…えっ…え…ッ!?い、今服の上からお、おっぱい触りましたか…!?

く、暗いからって言い訳になりませんよ…!

どさくさに紛れて後輩のおっぱいを揉んじゃう先輩なんて大っ嫌いです。

すけべ。えっち。色情魔。しきじょうま

氷結魔法でオチンチンかつちかちにしてバキツと折って去勢したいです。

…もしかしてですけど、女の人の身体、あんまり触ったことないんですか…？
というか、やっぱり童貞なんですか…？

…はあ…だと思いましたよ。

だって先輩、昔から彼女が居るとか居たとかいう噂、一切聞いたことないですもん。
しかも、普段私と話す時あんまり目を見てくれないですし、よく太ももとかチラチラ見
てくるじゃないですか。

さすがに気付きますよ。だれがどう見ても童貞です。

え？…私を先輩と同じにしないで下さいよ。童貞と処女じゃ価値が全く違います。

その辺に落ちてる小汚い軍手と国家予算くらい違います。

…やっぱり、そーゆーこと、してみたいんですか…？

…その…えっち、な、こと。

…ちっ、違います。ちよつと気になっただけです。で、どうなんです？

……そう、ですか。

…太ももとか、先輩が触りたいなら、ちよつとだけなら触らせてあげてもいいです。

…勘違いしないで下さい。

これは哀れな先輩への慈善活動です。チャリティです。

で？触らないんですか？…はい、遠慮せず触ったらいいじゃないですか。大好きなんで
しょう？太もも。

……んっ…。

…触り方、いやらしいです…。童貞のくせに。

…ん…あう…。

え？顔？…別にいいですけど、うずめても。

…ん？柔らかくていい匂いしますか？キモいですよ。

私が今、太ももで先輩の顔をギュッて思いっきり挟んだら先輩、泡吹いて窒息死します
から。発言には気を付けて下さい。

…スーハースーハー、顔スリスリ、気持ちいいんですか…？

私の太もも、そんなにいいんですか、そうですか。やっぱり先輩って、予想通りのむっ
つりすけべだったんですね。

…うっ…なっ、舐めるのやめて下さいっ。

ど変態ですか…あう…ちよつと…くすぐりたい、です…。

ホントに殺しちゃいますよ？むぎゅって…。

ぺろぺろぺろぺろ、舐めすぎです。唾液で太もも濡れてきたんですけど。

何ですか、マーキング？私を勝手に先輩の物にしないでもらえます？

…って、ちよっ、なんか、固いもの脚に当たったんですけど。

なんですか、これ。おちんちん？うそ、先輩、後輩におちんちんなすり付けたんですか？

…最っ低です。即豚箱入りです。

え?…し、シコシコ…してほしいんですか…!?

すす、する訳ないじゃないですかっ。

今の言葉、テープレコーダーで録音して先輩の実家に送りつけたら、勘当ですよ。

一家の恥ですよ、…え、ちょっと…ほ、ほほ、本気なんですか?

本気で私におちんちんのお世話、して欲しいんですか?

…。

…た、確かに、今日はたくさん先輩にヒールしてもらいましたけど…。

…お、お返し!? おちんちんシコシコは回復じゃなくて、ただの性欲じゃないですか!

お返しになりませんっ。

それに、私へのサポートは仲間として当然の事じゃないんですか?

先輩、ロクに戦えないし…。

…え…もうホットケーキ作ってくれない? そ、それは違くないですか…!? 意味わかんないです。鬼畜です。

…うう….: わ、わか…り、ました。今日だけ特別に、私が先輩のおちんちんを気持ちよくしてあげます。

そつ、そのかわり、絶対に服にかけちゃダメですよ。

精子の匂いがしたまま冒険なんてイヤですから。

….: じゃあ、こっち来て下さい。

ず、ズボン下ろしますから。腰浮かせて下さい。

…うう、やっぱり自分で脱いでください。

…わ…。

….: なっ何ですかジロジロ見て。

見るの初めてなんだからしょうがないじゃないですか。

じゃあ、始めますからね。

….: 皮、剥いちやっていいですか?

うわ、亀頭、パンパンに膨らんじゃってます…。

えっと、しこ、しこ….: えいっ….: …んっ、どう…ですか? 痛くないですか? 気持ちいい?….: はっ、恥ずかしがらないで下さい。恥ずかしいのはお互い様なんです。

むしろ堂々としてくれないとなんか….: 私までヘンな気持ちになってくるじゃないですか。

….: しこ、しこ、しこ。

….: ここ….: 亀頭のとこ指でクニクニするの気持ちいいんですか?

….: だって、先輩こうすると気持ちよさそうな声だすんですもん。

ほら….: くに、くに、くに。

しこしこしこしこ。

はあ….: いやらしいです。ふしだらです。

くちゅっくちゅって音でてますし、もう先輩、顔がとろんってなってます。男の子がしちゃダメな顔です。

多分先輩、一生童貞のままですよ。

しこしこしこ、しこしこしこ。亀頭すりすり、オチンチンしゅりしゅり。

：おちんちん、自分のご主人がエッチしてるって勘違いしてます。

後輩に情けなく手コキしてもらってるだけなのに、バカなおちんちんです…。

しこしこしこ、しこしこ…。

片側の手、空いてるんで乳首とか触りましょうか？

：はい、乗り掛かった船なんで、別にいいです。

ほら、びんっ、びんっ。

指先で弾くの気持ちいいですか？

しこしこも勿論止めませんよ。次は指の腹でクリクリ。

男の人でも乳首、感じるんですね。

くりくり、くりくり。

たまに爪、軽く立てると気持ちいいですよ。

くりくり、かりかり、かりかり、しこしこ。

乳首で感じちゃうなんて男として恥ずかしい事ですょ…。

ほら、くりくりこりこり。乳首刺激されるたびに反応しちゃう先輩…情けないです。

…え…？キス!?はっ？

い、いくら先輩でも、恋人じゃない人とキスするのは…。

：た、確かに恋人じゃない人のおちんちんはいじっちゃってますけど。

じゃ、じゃあ、キスの代わりにお耳にイタズラしてあげます。

まずはそれでいいですよ？

…ちゅ…：ちゅぱ…：びちゅ…：先輩。へんたい先輩。えっちなせんぱい。

しこしこ、しこしこ、しこしこ。

：れろ…：はむ、はむ、はむ。

お耳気持ちいいですか？ちゃんと感じてますか？

包茎おちんちん、後輩にむきむきさせて、いじらせて、オマケに耳まで舐めさせる…。

良いご身分ですね。

しこしこしこしこ、しこしこしこしこ。

脚、もつと広げて下さいよ。

しこしこしこしこ。

良い感じです。おちんおちん、すごいバキバキです。興奮しすぎです。

ちゅっ、はむ。ぺろ、ぺろ、ぺろ。

おちんちんの先っぽから透明なトロトロしたおしる出ちゃってますよ。

そんなに気持ちいいですか？恋人でもない女に脅迫して、おちんちんシコシコしてもら

ってそんなに感じちゃうんですか？

：ちゅっ…：せんぱい…。しこしこ、しこしこ。

私の手、いっぱい犯されちゃってますね。汚いなあ。

しこしこする度、おしるどんどん溢れてきちゃってます。
すっごく気持ちいいの、わかります。

しこしこしこしこ、ぬるぬるぐちゅぐちゅ。

…耳の穴に、舌挿れちゃいます。犯し返してやるんです。お耳レイプです。
…れろれろれろ…びちゅ…れろれろ…。

気持ち良さそうですね。もっとしてあげます。

ちろちろ、れろれろれろ、じゅるっ、じゅるる、れろ、れろれろ…。

せんばあい…っ。ちゅっ、ぺろぺろ…。

おちんちん、びくっびくっとなってきましたね。

射精、しちゃいそうなんですか？ 精液、あがつてきちゃいました？

じゃあ、ラストスパートです。しこしこの速度、あげちゃいますね。

ほら、しこしこしこしこ…っ、しこしこしこしこ…っ。

え…？ああ、イク時に腰、掴んでもいいですよ。

…ん…っ。はあ…いいですよ。思い切り出して下さい。

せんばい…っ、しこしこしこしこ、しこしこしこしこ…っ。

…っ、わ…。すご…。

びゅっびゅっ…、熱…。

…。いっばい出しましたね、精液。

手が先輩の精液でヌルヌルです…。先輩、気持ち良さそうな顔…。

…え…？眠たい…!?

えっちょっ…。

っええ!?!、もう!!勝手すぎますよ、先輩！

…やっぱり先輩なんてキライです。

せっかく…。な、何でもありません。最低ちゃんぽ男はとっとと寝ればいいじゃないですか。

くず。クズ人間。

いつか後ろから刺されます。

おやすみなさい、あほあほ先輩。ばーか。

■トラックの湖上
(湖でボートの上)

ん、ん。

冒険を始めてもう二週間が経ちましたね。

水の上での生活ももう今日で3日目です。さすがに、お魚ばかりの食事にも飽きてきましたね。

あと少しで湖を越える予定なんですけど…中々岸が近づいてきませんね。

はあ…退屈です。する事といえば、先輩の顔見つめたり、おしゃべりするだけ。超不健全です。学校のグラウンド、走りたいなあ。

あ、先輩。オール、代わりましょうか？そろそろ交代の時間です。

…まだいいんですか？…なんか、辛そうな顔してますけど。

…ホントに？知りませんよ…強がっちゃって。

まあ、その…ありがとうございます。

ほんとにアレだったら、ちゃんと私を頼って下さいね。

■トラックへ湖に住まう龍

先輩…気づいていますか…？水面が不自然な波を立ててること…空気が震えてること。

水龍すいりゅうかもしれません。…知りませんか、近代竜種です。そこらの敵なんかとは比べ物に

ならないくらい強いです。

出くわしたら最悪なんで、急いで湖をぬけましょう。風魔法で手伝います、ドウ・マ・フール。

あと少しで岸なので、全速力で駆け抜けましょう…っ。

はあ…っ、はあ…っ、マズいです。明らかに様子が変わりました。

…ッ！後ろっ、水龍、浮上してますっ。でか…っ。

あ…っ、気付かれています！

攻撃の予備動作に入りました、高圧の水の爆弾が降ってきますっ………備えて！

…きやあッ！

はあッ、先輩、大丈夫ですか？せんぱっ—先輩ッ！

手を！早く船上がって下さい！逃げましょう！まだ私たちには早いです！

湖上に破裂魔法を撃つので、霧で視界を奪ってから…、もう一発来ます！

捕まって！……っ、

ぷはあっ、けほっ、けほっ、せんぱっ、たすけて…っ。

けほ…っ、せんぱ…逃げ……。

■トラック∞洞窟

(主人公がヒロインを命からがら陸地まで連れてゆき、洞窟で回復)

……。

…ん……ここ、は…？

せん…ぱい…。

あれ、私、あれからどうなって…。

…先輩が、私をここまで連れてきて、回復魔法まで施してくれたんですか…？

…あり、がとうございました。先輩が居なかったら、死んでましたね。

…え？何で先輩が謝るんですか。

…なんか、ムカつきます。

そりゃ、たしかに危険でしたけど…そもそも、安全だと思って冒険なんて始めてませんよ。

目的のために、結構覚悟して来たんですから。死ぬのなんて怖くないです。

まあ、流石に水龍はちょっぴり怖かったですけど。

……え、あれ、私、何で先輩にくっついて来たかって、あんまり喋っていませんでしたっけ。

…。私は…見てみたいんです。

この世界の果て、端っこにはなにかあって、どんなふうになっているのか。

どんな時間が流れてて、どんな風が吹いているのか。

まだ誰も到達したことのない地。最果ての世界。

そこに私の旗を立てて、ぜったい歴史の教科書に載ってやるんです。

…意外でした？こんな大人しそうな見た目ですけど、野望は大きいんですよ。恥ずかしくて誰にも言ってませんでしたけどね。

……。ね、先輩。キス、しましょっか。

…さっきまで死にかけてた後輩からのお誘いです。

お願いします。先輩がいいんです。先輩じゃなきゃイヤです。

…ね？せんぱい…ちゅ…ちろ…ん、れる…くちゅっ、んぱい、せんぱ…ちゅ。

キスって…こんな感じなんですね。思ってたより生々しいです。

ちゅっ…れる…べろ、ちゅ…先輩…怖かった、です…。

ちゅっ…ホントは、死ぬの、すごい怖いです…れる…。

さっきから手の震え、止まんないです。

はあ…ちゅっ、ちゅう…、れる…。ちゅっ、ちゅっ。

私、いけない子です。死にかけて、怖いのに、なんでかとってもエッチな気分になります…。

もう、アソコなんてグチョグチョなんです。先輩と…えっちなことしてみたいです。

…いい、ですか？

…変に遠慮しないでください。先輩だっけとしたりがってたじゃないですか。

じゃ、じゃあ先輩、寒いかもしれませんけど、裸になって下さい。私も裸になりますから。

…緊張しすぎです。

早くパンツ取ってください。

…脱げ、ましたね。

あ、あんまり…こっち見ないでください。やっぱり恥ずかしいです。

…それじゃ、抱いて、みて下さい。

……。柔らかいですか？私の身体。

先輩の身体は、固いです。ちゃんと男の子なんですネ。

…ちゅ…れるろ…。

…しばらく、こうしててもいいですか？……。

先輩…胸、触って下さい…。

…いいです。乳首、とか…なぞって…、んっ…、はあっ、ん…、あっ…気持ちいい、です。

胸、いっぱい揉んでいいですよ。

ん…ちゅ…あ…っ、ゃん、…きもち…。んっ…、あっ、はあ…っ…。

…ひゃっ!?

な、舐めたんですか。う、うう…。な、なんかヌメヌメしてて…変な感じ…

舌先でチロチロって、ちよ、…ん、ふふっ、なんかくすぐったいです。

あ、ああ…、へへ、吸うのもやっぱりくすぐった…。ん…くすぐったいっていうか…やっぱ気持ちいいです。

…先輩も…気持ち良くなりたいですよ…?…この前みたいに、シてあげます…。

ほら、シコシコシコ。

すぐにトロツとしてきちゃいましたね。かわいい、です…。

…ちゅ…れろ…わらひのひた、おいひ? **(私の舌、おいし?)**

…へんぱい…じゅるじゅる…ちゅぱ。

おちんちんガツチガチ…。

すごい興奮してるんですね。

…え?…もつと密着したいんですか?いいですよ。

じゃあおちんちん、太ももの間に入れて、両手両脚でギュッて抱きしめて下さい。

な、中に挿れちゃダメですからね。

…ん…もう、完全に先輩の身体にピッタリ収まっちゃいました。

…はあ、おちんちんがお股に挟まって、最高にやらしい気持ちです。

わかりますか?先輩のカウパーと、私の愛液で私たちの性器が完全に絡み合ってます。

…う、ああ…。

おちんちんとおまんこがキスしちゃってます。

私たちよりも先に愛し合ってます…。

先輩、キスしながら腰…動かして下さい。

…んちゅ…くちゅ…んはあ、ちゅる…れろ…ん、あっ…ああ…っ!、おちんちんが太ももの肉をかき分けながら、おまんこをジュブツ、ジュブツて擦ってきて…気持ちいい…っ。

あっ…、あ…っんん…っ、はあ…はあ、あ…ああ…っ!こんないやらしいコト、人生で初めてです。

擦れるたびに、頭がぼわわってなって、いやらしい事でいっぱいになって…自分じゃないみたいですよ…。

…ちゅ…っ、ちゅぱっ。すごい、ぬるぬる、です。

…れろ、んちゅ…、ちゅ。

べろ、気持ちいいですね。キス、気持ちいいですね。

…ちゆる…ちゅぶちゅぶ…くちゅ、れろれろれろ、ちゅっ、ちゅっ…。

私たちのこども、キス、気持ちいいって言ってます。

…ん…ああ…っ、私たち以上にねっとりぴっとり絡んで…おちんちんびくつびく…あん…っ、や…んっ、く…っ、はあ、はあ…。

あっ、ああ…、おまんこキュンキュンってます…。

かったいおちんちん、ごりごり気持ちいです。

ちゅ、ちゅ、ちゅううう…っ、胸触る手も、どんどんイヤらしくなってます。

…んっ…、はあ…ああっ、乳首、凄い敏感になつて…気持ち…っ、先輩のセイですよ、こんなにいやらしい身体になっちゃったの。

ああ…っ、く、うう…、オマンコの入り口、すごく切ないです。

ちゅ、れろれろ…ばあ、ちゅ…。

もっと激しく動いてもいいです。おまんこの肉、おちんちんでグチュグチュ溶かしていいです。

ううう、はあ…、や…っ、ん、んんっ…きもち…っ、もう、カウパーも愛液もダラダラ垂れて、飛び散って…っ。

疑似セックス、気持ちよすぎです…っ。バカになっちゃいそうです…。

…ちゅ、息、すっごく荒いですよ、イキそうなんですか…？

私のここで、射精したいんですか？

今まで溜めた精子、全部吐き出しちゃっていいですよ。全部先輩の好きにしています。

…あッ…、んん…、ううう…っ。

ずちやつ、ずちやつて、音、すごくいやらしい音して…ああ…っ、ぐ、んん…っ、はあ、はあ、はあ…。

ちゅ、ちゅっ…れろ…。

キスして、いっぱい抱きしめ合いながら腰ガンガン振って射精しましょうっ。中じやなきや、おまんこに出していいですから…っ。

ん…ちゅ、れろれろ…、ちゅぶ、ちゅ、ちゅ、ちゅっ…っばあ、べろれろ…ちゅっ…れろれろれろ…。

…いきほう、なんれふか？ちゅ…いっていいれふ、れろれろ、イって…、イって…っ！ちゅ、ちゅ、ちゅ、ちゅううううううっ。

…っああ…ッ！はあ、はあっ、うう…っ。

……。はあ、はあ、はあ…。

…お股、べちよべちよです。先輩、精液出し過ぎですよ。

そんなに私の身体が良かったんですか。

…ん。まあ、私も…イキましたけど。

…ちゅ…。

もう、今日は離してあげません。

寒いので、このまま布団かけて寝ましょう。

…明日になったら、また普通のパーティメンバーに戻るんです。
今くらい、こうしていきましょう、先輩。

■トラック6 最前線への道

旅も四週間目ですね。

先輩、私、毎日日記を書くことにしたんです。

先輩が寝てる時に書いてたので知らなかったかもしれないですけど。

…週間前の湖の上での生活があまりにも暇すぎて始めたんですけど、意外と楽しいです。
しかも、私が大人になったら、きっとこれは大切な思い出になると思うんです。

子供に見せてあげるのもいいかもです。

…ん？先輩が見ても面白く無いと思いますよ。

えっち絡みのことなんて流石に書いてませんし。

…見てもいいですけど、先輩についてはパートナーとしか書いてないので、期待しないで下さい。

あ…っ、先輩、見て下さい、この足跡。形的に、人間の足跡のようですね。それにこの星型の模様は、最前線都市…ミュツヘラのシンボルマーク。

…これ、もしかしたらミュツヘラの警備兵のものかもです。

市外の見回りの時のもののだとしたら、近いですよ！この足跡をずっと辿れば、ミュツヘラに着くはず。したら宿もあるし、しっかり休憩をとる事ができますね。

しかもこの辺りは強大なモンスターはいない筈です。

急いで行きましょう！

■トラック10 ミュツヘラにて

(世界の果て に現状最も近い最前線都市の宿屋、夜)

はあ…やっと一息つけましたね。ほら、ベッドふかふかです。

先輩は窓際のベッドと廊下側のベッド、どっちがいいですか？

…廊下側ですか、じゃあ私は窓側ですね。

…先輩、これからの話ですが、私たちは北北西の冒険者、第一班として、他の冒険者と一緒に前線を攻略していく事になります。

北北西エリアの情報はもう聞きました？

氷山の山脈が連なっているそうです。

…寒そうですね。…年前の誕生日にあげたマフラーとか、持ってきてませんよね。

え…持ってきたんですか。そうなんですか…。

…。明日、私たちが踏み入るのは未開拓、未到達エリアです。

今までよりもずっと強い敵が出てきて、怪我だってしやすくなります。

死ぬかもしれません。それでも、先輩は行くんですか？

…そういうと思っていました。

私も同じ気持ちです。絶対に諦めません。

…さ、明日も早いので早いうちにベッドに入りましょう。

お風呂、先に入ってきていいですよ。

え…？一緒に入りたいんですか？イヤです。

お風呂はなんか、一人で入りたいので。

それに、先輩とお風呂なんか入ったら確実にレイプされますから。

…冗談ですよ。ほら、つべこべ言わず、さっさと入るっ。

■トラック二 パトリシア

(主人公の後にヒロインがお風呂に入る。ヒロインがお風呂から出てくる)

はあ……。さっき、先輩は廊下側のベッドって言いましたよね。

…それじゃあ何で、先輩は窓側のベッドに寝ているんですか。

若年性の痴呆症なんですか。

まあ、先輩は常に痴呆みたいなものですけど。

…まあいいです。私は嘘はつかない主義なので、窓側のベッドで寝ますからね。

…。もうちょっと向こうに転がって下さい！私が寝られないです。

もう…じゃあ、失礼します。

…先輩、抱っこして下さい。寒いです。凍えてしまいそうです。

……。はあ…。

…明日から他の冒険者と旅に出るんです。

もう、私とこうやって触れ合ったりすることも…あんまりできなくなっちゃうんですよ。

ねえ…先輩…。

…なんか言ったらどうですか。

…先輩は、私の事、どう思っているんですか？ただの後輩ですか？ただのパーティメンバーですか？

それとも…特別な、気持ちを…。

ですよ、好きですよ。

あんな事までしておいて、あんな幸せそうにキスしておいて好きじゃないなんて言われ

たら、人格を疑います。

ていうか、絶対大号泣します。

…好き、なんですよね。

じゃ、じゃあ、好きってもって言って下さい。

……。

…っ。

あ、ああ、そ、そこまでいいですっ。わかりましたからっ。

……。じゃあ、キス。

…ちゅっ…はむ、はむ…ちゅ…っ、ちゅう…。

先輩、これからずっと一緒です。何があっても、一緒にいましょう…。
ちゅぽ…れえ、れろ…っ。ちゅっ。

先輩が他の女冒険者に取り込まれないように、エグいキスでマーキングです。
舌、思い切りべーって出して下さい。

…ぺろぺろ、れろ、れろれろれろ…。

ちゅぽっ、ちゅぷっ…れろれろ…。

はあ…、後輩にべろ舐められてマーキングされる気分はどうですか？

…口犯されて、気持ちいいですか…？

先輩、見て下さい。私、先輩の前でなら…もうこんなイヤらしい女の子になれちゃうんです。

先輩相手に、こんな発情してるんです。

触って下さい…胸。

…どくっどくって鼓動、すごく早くなってるのわかりますか？

先輩と旅を始めてからずっとこうなんですよ。

胸がキュンとしちゃって苦しいです。毎晩、眠りに着くのが大変です。

だから先輩、今夜はたくさん可愛がって下さい…。

…ちゅうう、ちゅっ、ちゅうう…れろれろ、ちゅっちゅっ…。

あっ…首すじ、舐め…っ。

…先輩も、ここカッチカチになってます。

もどかしいですか？早く気持ち良くなりたいですよ…。

な、舐めてあげるのでパンツ下ろして下さい。

先輩のおちんちん、かっこいいです。

ぺろ、…。れろれろ、ちゅっ…。じゅるる…んちゅ、じゅぽっ…れろれろ。

先輩、気持ち良さそうな顔してます。

…声、我慢しなくていいですよ。

ちゅる、じゅぶ……れろれろ、ちゅっ…、はむ…、じゅぶっ、じゅぶっ…れろれろ。

見て下さい、おちんちん、私の顔と比べてこんなにおつきくなってます。

はむ…じゅぷっ、じゅぷっ、れろれろ、じゅぶっ…。

先輩、この前みたいに裸で密着しましょう。

下着脱がせて下さい。

…ふふ、ヘタクソですね。先輩らしくていいです。

…乳首、すごい尖ってます。は、恥ずかしいのでそんなに見ないでください。

それより、ほら、乗ってイイです。

思い切りギュッて抱きついてきて下さい。

…っ、フィット感、やばいですね。

ちゅ…ちゅう…大好き、です。

……。挿れたいですか？おちんちん、オマンコに。
いいですよ、挿れて…。

わかりますか、オマンコの入り口。

そ、そっちは違います。もうちょっと、こっち…そう、そこ、です。

いいですよ、きて…っ。

…はあ…っ、ああ、んんっ…。先輩のおちんちん、わかります。

オマンコに、ずぶぶって…。

…く、はあ…。

…先輩、私たち、やっと一つになれたんですね。…嬉しいです。

ちゅう、ちゅっ、ちゅっ…。

童貞、ご卒業おめでとうございます。

……。あの、出したり挿れたりしていいですよ。
…。

…あっ…あっ…すご…っ、んっ、はあっ…気持ちいいですっ…。

はあ、はあ、んっ…、ああっ、あう…っ、せんぱいっ…せんぱい…っ。

えっち、すごいですっ、おちんちんがズンっズンって来て…ッ、あんっ…、弱いところ、
いっぱい擦れて（こすれて）気持ちいいですっ。

キスしながら突いて下さい…。

ちゅう、ちゅっちゅっ、じゅちゅううううう…っ、んんっ、はあ、れろれろ、れろれ
ろれろれろっ、ちゅうっ、ちゅううううううっ、

びちゅばちゅばつれろれろ…、れろれろ、れろれろ、じゅぱっ、ちゅっ、ちゅっ、れろ
れろれろ…。

恋人キスです。

おちんちん入ったままする、えっちなキスですっ。

ちゅっ、ちゅっ、ちゅーっ、ぴちゅっ、れろれろれろ、ちゅっちゅうううう…。

大好きです。腰、もっと振って下さいっ。

あ…っ、あっ、あっ、ああああっ、すごい、感じます…っ。

んううっ、気持ちいいです…、オマンコ、気持ちいいです…っ。私の愛液と、先輩のえ
っちな液でぬるぬるになっ…っ、おちんちんがオマンコに絡み付き合いながら突い
てくるんです…っ。

あっああ…っ、やん…、一人でいじってる時よりもずっと、何倍も気持ちいいですっ。

キス、キスしましょう…。

ちゅぱっ、ちゅっ、ちゅっ、れお、れろれろれろれろ…っ、先輩、あったかい…。

私たちの身体、すごく熱くなっています。

熱くて、火照って、敏感になっています。

…んしょ…、今度は先輩が下です。

オマンコ、突き上げて下さい。

…あああつ♪、おちんちん…っ、奥まで届いてます…っ。
んっ、あううっ、子宮っ、おちんちんの先がキスしてきて…っ、溶けちゃいます…っ。
あっ、ああっ、あっ、くううう…っ。
突き上げるのイイですっ。

先輩と深く繋がってるような気がして、気持ちよすぎ、ます…っ。
んんんっ、はあ…っ、先輩、おちんちんズボズボしながら、抱いて下さいっ。
ちゅっ、ちゅっ、ちゅっ、好き…っ。

もっと突いて…っ、突いてくださ…っ、ああああっ、ヤダ、すご、気持ちいい…っ。
ばんばんっ、ぬちゃぬちゃって…すぐいやらしい音でます。

うう…あ…っ、ああっ、やあっ、はげし…っ、んんっ…、あっ、あああ…。

んっ、んっ、んんっ、あ、あん…っ。

きもち、いいですっ。今までで一番。

ちゅ、ん…、ちゅっ、れろれろれろ…、ちゅう、ちゅうううっ。

あ…っ、あう、はあ…ああっ…、舌、もっと絡ませましょう。

じゅる……れろ、れろれろれろ……ちゅぱっ…れろれろれろれろれろ……唾液、す
ごいです。

口の中まで先輩でいっぱいです…。

おちんちんも私の中でピクッピクッて切なそうです。

はあ…、先輩、イキそ…？

おちんちんからいっぱい精子ドピュドピュってしたいんですね。

…中に出してもいいですよ。

私のこと、本気で心から愛してくれているなら、中に出してもいいです。

…あうう、はあ、ああっ…、腰、いきなり押し付けちゃダメです。

グリグリ、グリグリって、オマンコの奥の奥までねじ込まれます…。

早く中出ししたいんですか？大丈夫ですよ、焦らなくても私は先輩だけの女ですから。

そろそろイキたいですよね。

先輩っ、好きですっ、好きです、好きです、好きです、あ…っ、好きっ、好きっ、すき

っ、好き、好き、好き、好きっ、すき、すきすきすき…っ♪

…っはあっ、はあ…はあ…熱…っ。

すご、先輩の精液流れてくるのわかります。

…はあ、はあ……、先輩、抱きしめて下さい…。

…ん。だいたい、大好きです。…今、本当の意味で心が繋がった気がしました。

…おちんちん、抜いちゃダメです。このまま朝までこうしていきましょう。

■トラック12 最期の足音

(複数人で世界の果て目指して出発したが、途中の洞窟で敵の奇襲に遭い散開。ヒロインと主人公の二人きりになってしまう)

ミュツヘラを出てからどのくらい経ったんでしょね。

〜日、〜日：あるいはそれ以上。洞窟の中は時間が分からなくてイヤですね。

…先輩、まだ歩けますか？

無理しないで下さい。辛かったらまた歩き出せるまで休みましょう。

……。

あの時、レッドゴブリンの奇襲さえ無ければこんな事に…。

…え、いいんですか、もう歩き出しても。

他のメンバーとはまだ連絡さえ着かないので、ここを出たら次、どこで休めるか分からないんですよ。

…わかりました、でも先輩、まず合流よりも何よりも、ミュツヘラに引き返すことを最優先にしましょう。

さあ、こっちはです。

はあ、はあっ、はあっ、隠れてっ。

……。もうすぐ出口だっていうのになんで…何でゴブリンの足音が、しかも大量に…ッ。

確実に私達の退路を断つつもりです。

推定ですけど、多分30以上はいますね。

丁度一班のメンバー数かそれより少ないくらいです。奇襲で散開してなければ、切り抜けたのに…。

…っ、しっ。

…やだ、逆側から数匹急接近してきてます。

存在に気づかれていたとしたら…挟み撃ちです…。

先輩…。

私ももう、体力の限界です…。魔力も尽きましたし、疲労が溜まりすぎて…もう一度立ち上がれそうもないです。

ごめん、なさい…。最後まで戦い抜けないで。

私達の旅は…ここで終わりです…。

な、泣きそうな顔しないで下さいよ。こっちまで泣きそうになります。

……。先輩との旅は、私にとってかけがえの無い貴重な経験でしたよ。

色んなものを見て、学んで、色んな体験もして。

世界の果ては最後まで見られませんでしたけど、最高の思い出です。

生まれ変わってもまた、一緒に冒険しましょうね。

今度は世界の果てまで行きましょうね。

だから、ここで一旦、お別れです。

……わ、私だってイヤですっ、でも…もう時間が無いんです。ちゃんと顔、まっすぐ見て下さいっ。

…。

…お別れくらい、言わせて下さい。

心から、愛していますよ、先輩。
…ちゅ。

■トラック13 後輩でパーティメンバーで〜エピソード〜

（数か月後。世界の果てにより近づいた場所で、他の冒険者と少し離れて休憩中）
あったかいですね、焚き火って。

ね、先輩。

…。それに、ぱちっぱちっという薪の弾ける音が、何ともリラックスしますよね。

…これは杉の木ですね。

ふふ、すごいでしょ？あの一件があつてから、耳を鍛えるようにしてたんです。

はい、ホントに今でも笑えませんが、ゴブリンと仲間の足音を間違えて、その上死まで覚悟して先輩にお別れを言っちゃうとか。

…こら。ニヤニヤしないっ。今でもたまに思い出しては恥ずかしすぎて死にそうになるんで。

…ん？これですか？

知りませんか。

聞いたことくらいはありますよね、仮想世界地図。

科学者が各地の冒険者から得たデータで作った予想の世界地図です。

これによると、ここから北にまっすぐ進むと、200 マイルほど先からの地理予測データが不自然に不鮮明で、ここが世界の果てなんじゃないかと言われているそうです。

まだまだ道のりは長いですね。

…でも、どこまでも先輩について行きます。

その先で例え、のたれ死んだとしても構いません。

だってあなたは、私の先輩でパーティメンバーで、そして大切な人ですから。

終